



泳力を伸ばす鍵は「学びの積み重ね」

学年	調査項目(新)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
1年	伏し浮き	75.3%	71.7%	74.0%
	バブリング	85.6%	83.5%	91.5%
2年	伏し浮き	82.4%	80.3%	86.2%
	ポビング	84.4%	83.7%	86.7%
	け伸び	73.5%	73.3%	76.4%
3年	け伸び	78.6%	77.7%	78.0%
	面かぶりクロール7m	61.9%	59.3%	59.3%
4年	かえる足	28.8%	29.2%	26.8%
	け伸びクロール15m	56.8%	54.9%	51.2%
	け伸び平泳ぎ10m	35.2%	32.8%	30.9%
5年	クロール25m	54.3%	50.3%	52.0%
	平泳ぎ25m	42.9%	40.5%	38.1%
	背浮き10秒	76.2%	74.0%	73.9%
	5分間回泳	40.8%	37.8%	41.6%
6年	クロール25m	62.4%	65.1%	62.8%
	クロール50m	40.7%	37.9%	35.0%
	平泳ぎ25m	52.5%	53.7%	54.7%
	平泳ぎ50m	41.6%	38.3%	39.9%
	背浮き20秒	69.3%	65.1%	71.8%
	10分間回泳	45.4%	43.7%	44.1%

<考察>

令和5～7年度の泳力調査を比較すると、全体では項目ごとに増減はあるものの、児童の学びの**積み重ねによる成果**が確実に表れています。特に、令和6年度の1年生と令和7年度の2年生の「伏し浮き」、令和6年度の2年生と令和7年度の3年生の「け伸び」の向上は、水に慣れ、体の浮かせ方や姿勢づくりなどの**基礎動作が着実に身に付いていることを示しています。**

また、6年生の回泳や25mの種目において、5年生のときからの数値の伸びが大きく、「背浮き」や「け伸び」などの**基礎動作が安定してきたのだと考えられます。**先生方の継続的な指導による成果が表れていると考えられます。

一方で、**50mの「クロール」や「平泳ぎ」**では、まだ**課題**が残されています。呼吸のリズムをつかみ、**体の力を抜いて浮く力を身に付けることで、長い距離を泳ぐことができるようになります。**また、外部講師による専門的な助言や実技指導を取り入れて、短時間で効率的に技能を高めている学校もあります。今後も「水泳運動系統表」を活用しながら、学年ごとの系統性を意識した指導を積み重ね、児童一人ひとりが自信をもって水と関われるようにしていきたいと思えます。